

ふるさと納税に係る大学応援メニューの追加について

1 提案概要

飯塚市では、平成 29 年 4 月に近畿大学並びに九州工業大学と締結した包括連携に関する協定書に基づき、まちづくりの様々な分野において大学との連携を強化しています。

一方で、大学においては、今後、入学者を継続的に確保していく上で、大学の機能強化とキャンパス環境の充実が必要と認識しています。

このような中、大学支援及び産学官連携事業の更なる強化を目的として、現行のふるさと応援寄附金（ふるさと納税）制度に大学応援の項目を設け、運用を行うものです。

2 事業内容

現行のふるさと納税の応援メニューに「大学応援寄附金【産学官連携事業の推進等を応援】」の項目を設け、当該寄附金をそれぞれの大学（近畿大学産業理工学部、九州工業大学情報工学部及び近畿大学九州短期大学）に助成（寄附額を市の歳入に受け入れ、翌年度以降に「大学応援補助金（仮称）」として交付）します。

なお、交付額は寄附金から必要経費相当額を差し引いた額を予定し、交付を受けた大学は補助金を連携事業の強化等に充当するものです。

<事業スキーム>

寄附者 → 飯塚市

ふるさと“いいづか”応援メニュー

1. まちづくりの推進【まちづくり協議会の活動を応援】
2. 産業・経済の活性化【お祭り・観光 新しい産業づくりを応援】
3. 教育・文化の充実【未来を担う子どもたちの成長を応援】
4. 市民福祉の向上【人にやさしいまちづくりを応援】
5. 生活基盤の充実・環境整備【住みやすいふるさとづくりを応援】
6. 全事業【なんでもよか！ふるさと飯塚を応援】

追加) 大学応援寄附金【産学官連携事業の推進等を応援】

～大学応援寄附金では、飯塚市からの返礼品はありません。～

- 近畿大学産業理工学部への応援寄附金
- 九州工業大学情報工学部への応援寄附金
- 近畿大学九州短期大学への応援寄附金

→ 3大学へ

大学応援補助金として、
翌年度、各大学に交付

※近畿大学産業理工学部及び近畿大学九州短期大学は、本学と調整中です。

3 飯塚市のメリット

- (1) 更なる大学への支援強化につながるものであり、大学の地域貢献、人材育成や産業界への更なる貢献が図られます。
- (2) 大学OB及び関係者等のふるさと納税寄附者の新規開拓など寄附者増加が期待できます。

4 今後の予定

- 令和元年 10 月 1 日 事業（運用）開始
- 令和 3 年度 ふるさと応援寄附金（ふるさと納税）を財源とした補助制度開始

工事請負契約報告書

協働環境委員会資料
令和元年9月13日提出

工 事 名	予 定 価 格 (A)	落 札 額 (B)	落 札 率 (B/A) (小数点第三位以下切捨)	契 約 者 名	入 札 日
新体育館建設敷地造成工事	117,300,700 円 うち消費税 10,663,700 円	105,233,700 円 うち消費税	89.71 %	有限会社荻原建設	8月20日
契 約 日 令和 元年 8月26日	最低制限価格	9,566,700 円			
工 期 令和 元年 8月27日 から 令和 2年 3月27日 まで	105,233,700 円 うち消費税 9,566,700 円				

入札参加業者名(条件付き一般競争入札)【工種:土木 I】

(株)前田組	柴田建設工業(株)	(株)修成工業	(株)あさひ産業	(有)荻原建設
(株)フジイ	三智産業(株)	(有)ダイオー建設	(有)富士土木	(有)松本建興
(株)大原組	林田コンクリート工業(株)	岩永建設(有)	(株)川端組	下川建設(株)

* 地方自治法施行令第167条の9によるくじ引きの結果 (15者中14者)